

# 授業デザイン FIRST STEP 一 小学校社会科「教材や資料の準備」編



## 1 社会科の授業で教材や資料の準備が大切なのはなぜ？

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編では、※社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習過程を充実させることが大切であると示されています。したがって、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせることができるよう教師がねらいをもって教材や資料を準備することが大切です。



※「社会的事象の見方・考え方」とは、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して(視点)、社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること(方法)です。

## 2 教材や資料を準備する際のポイント

教材や資料を準備する際には、これらを提示する目的や効果を明らかにしておくことがポイントです。そのために、身の回りにある多くの情報から、どの情報を選択し、どのように教材や資料にするのかについて、以下の2つの視点で焦点化することが大切です。

- 児童に調べさせたいことは何か。
- 児童に考えさせたいことは何か。



澤井陽介著「社会科の授業デザイン」を基に作成

## 3 教材や資料を準備する際に参考にするものの特徴(◎)と留意点(※)

参考にするもの	特徴	留意点
(1)教科書・地図帳・資料集・副読本	◎全児童に同じ資料が準備できるので、効率よく学習を進めることができます。 ◎教師の資料準備の負担が軽減できます。 ◎写真やデータは、よく吟味・検討されて選ばれたものが掲載されているため、安心して使用できます。	※第3・4学年は、自分が住んでいる地域についてまとめている副読本等を併用することが大切です。
(2)関係機関(市役所や歴史資料館、JA など、学習内容に関わる機関)のウェブサイトや新聞など	◎(1)より詳しい情報などが手に入ることがあります。 ◎地図等はインターネット上のものを使うと、ズームイン、ズームアウトが自在にでき、容易に活用できます。	※複数のウェブサイトでデータの内容について比較をし、信頼性や妥当性を確認することが大切です。
(3)現地での見学で得た情報	◎現地でしか得られない情報などが手に入ることがあります。 ◎見学先でのインタビューを通して、人々の思いや願い、考えを得ることができます。	※見学先で撮った写真やインタビュー内容の使用については、使用目的などを見学先の方に伝え、許可を得ることが大切です。

・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編 p.154には、社会科に関係する教材や資料集等の項目が紹介されています。詳細は文部科学省 HP で確認することができます。

[☞ 文部科学省 HP「各教科等に関係する教材や資料集等のウェブサイトについて」](#)



準備した教材や資料は、インタビューなどから得られる①「人々の思いや願い、考え」、写真などから読み取れる②「実際(仕事、活動)の様子」、統計や地図、年表などで示された③「数値等のデータ」の3つの要素が全て含まれているかを確認し、児童に人々の働きや営みの理解を図ることが大切です。